

平成28年9月28日  
石川県健民運動推進本部  
(県民交流課内)  
076-225-1366(内線3894)

下 沢

「ふるさとのツバメ総調査作品コンクール（感想文の部）、（記録・観察作品の部）、（ツバメのお宿シールの部）」の被表彰者決定について

## 1 募集目的

### ふるさとのツバメ総調査作品コンクール

#### ○「感想文の部」、「記録・観察作品の部」

県内の児童が自然を大切に作る心や、自然と人間の関わりについて考えを深めることを目的として実施しているツバメ調査について、心に残ったことや理解したことの「感想文」や写真、ツバメ新聞などの「記録・観察作品」を募集した。

#### ○「ツバメのお宿シールの部」

ツバメの巣がある場所に貼ることで、次年度以降の目印として活用する「ツバメのお宿シール」の原画を募集した。

採用した作品は来年の調査時に使用するシールの原画となる。

## 2 作品募集期間

平成28年5月17日～7月15日

## 3 応募総数

### ふるさとのツバメ総調査作品コンクール

・感想文の部	30校	532点	(前年29校 451点)
・記録・観察作品の部	12校		(前年19校)
・ツバメのお宿シールの部	149校	1,615点	(前年152校 1,687点)

## 4 被表彰者

別紙のとおり

## 5 表彰式

期 日 平成28年11月20日(日) 午前11時～12時  
場 所 県庁行政庁舎 19階 展望ロビー

## 6 展示会

「ふるさとのツバメ総調査パネル展」を下記のとおり開催する。  
日 時 平成28年11月15日(火)～11月27日(日) 午前10時～午後8時  
場 所 県庁19階展望ロビー  
展示内容 入選作品を展示

## 7 その他

来年度に使用される「ツバメのお宿シール」は11月上旬を目途に作成する予定

<参考> 第45回(平成28年)ふるさとのツバメ総調査について

5月の愛鳥週間(5月10日～16日)に県内全公立小学校209校の6年生を中心とする、11,391人の児童がツバメ調査を行った。

45年間にわたって全県でツバメを調査しているのは石川県のみ。

## ふるさとのツバメ総調査作品コンクール受賞者一覧

### 感想文の部

1	最優秀賞	金沢市立泉小学校	6年	ミズノ 水野 チエ 千絵
2	優秀賞	小松市立稚松小学校	6年	タキモト 滝本 カナ 果南
3	佳作	小松市立日末小学校	6年	サカシタ 坂下 ミズホ 瑞穂
4	佳作	小松市立日末小学校	6年	カミサワ 神澤 リョウ 燎
5	佳作	白山市立朝日小学校	6年	カワノ 河野 トワ 叶芭

### 記録・観察作品の部

1	優秀賞	小松市立東陵小学校	学級新聞とツバメのお宿地図
2	優秀賞	加賀市立山代小学校	ツバメ調査ポスターとツバメ新聞
3	佳作	珠洲市立みさき小学校	ツバメの俳句

### ツバメのお宿シール原画の部

※第46回(平成29年)に使用する

1	最優秀賞	能美市立辰口中央小学校	6年	コバシ 小橋 ワカナ 和奏 イケダ 池田 アユミ 歩未 合作
2	優秀賞	川北町立川北小学校	6年	ミヤダ 宮田 リン 凜
3	佳作	金沢市立中村町小学校	6年	スズキ 鈴木 ユウナ 侑羽菜
4	佳作	金沢市立粟崎小学校	6年	ハナウラ 端浦 タクミ 拓巳
5	佳作	金沢市立南小立野小学校	6年	マツダ 松田 ナナ 奈々
6	佳作	金沢市立兼六小学校	5年	スカタニ 額谷 ワカ 和花
7	佳作	七尾市立田鶴浜小学校	6年	オカダ 岡田 センタ 線太
8	佳作	能美市立辰口中央小学校	6年	ナカ 中 リリナ 梨里菜

## ○感想文の部

### 最優秀賞

#### 温かさを感じられたツバメ調査

金沢市立泉小学校 6年 水野 千絵

私は、今回のツバメ調査で地域の人々の温かさとやさしさを感じることができました。私が調査した家で、玄関のついたてにツバメが、ずうっといる所がありました。もちろん家の中に巣はあります。その家の方に話を聞くと、そのツバメはその場所がお気に入りの場所です。なんだか家のお父さんがずっとお気に入りのソファにいるみたいで、そのツバメはその家にとってもなじんでいるんだな、と思いました。家族同然にツバメを思っているその方はやさしい人だなと思いました。

別のツバメの巣があるお宅で、ツバメのために窓を一つ、くりぬいてある所がありました。そのお宅はお土産屋さんで、窓がくりぬいてあるすぐむこうには商品がならんでいます。冬なんか、雪が商品にかかってしまうことがあるだろうに、それでも窓をあけてくれていました。そこのおじさんは少しこわい顔だけど、とても優しい方だなと思いました。

また別の巣のあるお宅の方は「ネコが車に登ってツバメを取っていってしまう。」とおっしゃっていました(私の住んでいるところは、なぜか野良ネコがたくさんいます。)そういうところまで、しっかり見ていてくれて、ツバメを温かく見守っていてくれるんだなと思いました。

ツバメをとおして、改めて地域の人々の優しさ温かさを感じることができました。

これからも地域の人に温かく見守られて、ツバメが毎年来てくれたらうれしいし、ツバメが増えていったらいいなと思いました。

### 優秀賞

#### ツバメを歓迎する地域の方

小松市立稚松小学校 6年 滝本 果南

私は、初めてツバメ調査をしました。ツバメは、今までに何回か見たことがあったけど巣などを細かく見たのは初めてでした。古巣も見ました。一番びっくりしたのは、作っている途中の巣でした。作っている途中の巣は、ボウルの形の巣の3分の1ぐらいでした。また、ツバメの巣が落ちないように、巣をのせるように板を取り付けている所もありました。他にも毎日、日記をつけている方もいました。その方の家には、3年ツバメが来ているのに、今までツバメ調査隊が来たことがなかったそうです。そのようなツバメや巣を見つけられて、うれしかったです。10年ぐらい前からツバメが来ている家もありました。心に残ったのは、ツバメのタマゴが5つもあるという事です。しっかり観察していてすごくツバメの事が好きなんだと感じました。

他にツバメがいるか、巣があるかなどを見ていたら、〇〇さんの家にツバメがいるよ、巣があったよ、と教えてくださる方もいました。地域の事、ツバメの事をよく知っていてすごいなと思いました。他にも出会った方など、聞いてまわると、「最近、ツバメが来るのがおそいよ。」や「ここら辺はいないよ。」などと教えてくださる方がいました。これも、地域のツバメの事を知っているということだと思いました。ツバメの事をよく知っているということは、ツバメが好きでツバメが来るのを、歓迎しているということなので良い町だと感じました。ツバメは、環境の良い所にしかきません。だから、ツバメが来るのは、良いことなので、もっとツバメが来るようにしたいので環境を良くしていきたいです。そして、ツバメを守ってあげたいと思いました。

## 佳 作

ぼくの家にも来てほしい

小松市立日末小学校 6年 坂下 瑞穂

ぼくは、佐美町の小原というところに住んでいます。小原は、佐美町の多くの家が密集しているところとはなれた小さな集落で、周りは田んぼだらけです。小原にも少し前まではツバメが来ていたそうです。しかし、町の人に話を聞くと「カラスがたくさんいるから来ないんだよ。」「カラスが天敵なので、来なくなったんだよ。」と教えてもらいました。たしかにカラスが多くいるのでツバメがあまり来ないのも納得できました。

けれども、調査を進めていくうちに、小原にも、使われている巣が2つあることがわかりました。巣があった家の人に会って話を聞くことができました。前から少し気になっていた車庫のシャッターのところについているネットのことについて質問しました。すると「カラスがヒナを食べにこないようにつけているんだよ。」と、とても温かい言葉を返してもらいました。やはりツバメにとってカラスは天敵なんだと思いました。それでも地域の人がツバメを守ってくれている、そんな気持ちになって、とても心が温かくなりました。

ぼくは今回の調査で、たくさんの巣や成鳥を見ることはできなかったけど、地域の人のやさしさや温かさをたくさん感じることができました。

今年は、巣やツバメがたくさん見つけられたと先生に聞いたので、これからもどんどん増えるといいです。そのためには、ぼくたちがやさしい心を持ってツバメたちと関係を築いていくことが大切だと思います。そして、ぼくの家にもツバメが来たら、温かくむかえ入れて、ツバメを見守っていきたいです。

## 佳 作

やさしくあたたかい目で

小松市立日末小学校 6年 神澤 燎

ツバメ調査をして、分かったことがあります。

一つは、「人とツバメのつながり」です。ツバメは、人がいないと、生きていけないということです。ツバメは、納屋や工場の中に、巣を多く作っていたということです。人がいなくなったら巣を作ることができないということです。

二つ目は、「天敵の存在」です。ツバメは、カラスやヘビなどの天敵に食べられてしまうからです。人も巣をわざと落とす人もいますからです。

一番心に残ったのは、「ツバメが家に来ている人のあたたかさ」です。ツバメが来ている家のほとんどの人が、「来年も来てほしい。」と言う人でした。しかし、「ツバメはフンを落とすから嫌い。」と言う人もいました。

一方、「来たからしょうがないや。」とか「かわいいからいいや。」など、「本当はいやだけど、来なかったらさびしい。」など、いやでもツバメが来たら巣をこわさずに、あたたかく見守っている人がたくさんいました。

ツバメが家に来ている人たちも、ツバメをやさしく、あたたかい目で見守っていました。

今年もぼくの家にも、ツバメがしっかりと来ました。去年よりも少ないけど来たのでよかったです。最近になって、ヒナ鳥の鳴き声が聞こえてきます。

ぼくも、ツバメが家に来ている人たちのように、やさしくあたたかい目でツバメを見守っていきたいです。

## 佳 作

### ツバメ調査

白山市立朝日小学校 6年 河野 叶芭

昨日、ツバメ調査がありました。私は、まずお肉屋さんに行きました。玄関に古い巣が3つ、ツバメが住んでいる巣が1つでした。肉屋さんの人は、「ツバメがすき。」と言っていました。そうなんだと思いました。

次に、山口さんの家に行きました。山口さんは、「フンは汚いけど、ヒナはかわいい。」と言っていました。

次に、鶴来駅に行きました。鶴来駅には、フンが落ちないように傘がかけられていました。ツバメを追いはらわないことがすごいと思いました。ツバメも安心できると思いました。

次に、かなやタクシーに行きました。ツバメの巣は、よく見ないとわからないようなところにありました。かなやタクシーの人は、ツバメの巣があることを初めて知ったようでした。

そして、最後に鶴来中学校へ行きました。友達のお兄さんに聞いて30分後にやっと入れました。

インターホンを押して、職員室に行きました。職員室は、前の朝日小学校みたいでした。中学校の教頭先生にシールをわたしました。教頭先生は、「ツバメを見ていると、生きる大切さが分かりますね。」と言っていました。さすが、中学校の教頭先生だと思いました。中学校のツバメの巣を見ると、すごい数でならんでいました。気持ち悪いほどの数でした。

でも、よく見ると1つ1つの巣にヒナがいて、教頭先生の気持ちが分かるような気がしました。

あと、1年後には、この中学校にいるんだなと思いました。ヒナも1年後には巣を作って、子どもを産むんだなと思いました。前にツバメがスズメを追いかけているところを見たことがあります。それは、ヒナを守っていたんだな、とようやく分かりました。ツバメ調査では、ツバメがきれいな人もいました。でも、ちゃんと巣を守っている人がいることが鶴来の優しさなんじゃないかなと私は思います。

ツバメ調査に行く前は、ツバメについてくわしく分かると思ってうれしかったです。その他にも、鶴来は優しい町だと分かってうれしく思いました。

応募一覧

金沢市	泉	2	小松市	木場	9	加賀市	山代	2
	中村町	5 7		矢田野	4 1		庄	6
	明成	3 5		中海	2	かほく市	高松	6 7
	諸江町	5		金野	2 4	白山市	朝日	3
	馬場	3 2		東陵	4	能美市	福岡	1 1
	緑	1 2	珠洲市	宝立	2 0	津幡町	条南	5 3
	不動寺	2		上戸	9	内灘町	大根布	4
七尾市	天神山	4 6		飯田	1 5	宝達志水町	宝達	2 7
小松市	稚松	1 3		直	3	能登町	松波	2
	第一	3		若山	1	合計	3 0校	5 3 2点
	日末	2 2						

このほかに、1, 7 7 2枚の調査票に一言感想がありました。



ツバメの巣  
中に小さな  
命ある  
珠洲市立みさき小学校  
五年 舟木 宥芽

ツバメさん  
子どものおせわ  
がんばって  
珠洲市立みさき小学校  
五年 瀬戸 結友

調査表  
見たらツバメが  
はいりました  
珠洲市立みさき小学校  
五年 前野 那由多

平成29年度使用「ツバメのお宿シール」原画作品 入賞作品

最優秀賞(来年度のシール)

優秀賞



能美市立辰口中央小学校  
6年 小橋和奏・池田歩未



川北町立川北小学校  
6年 宮田 凜

佳 作(6点)



金沢市立中村町小学校  
6年 鈴木 侑羽菜



金沢市立粟崎小学校  
6年 端浦 拓巳



金沢市立南小立野小学校  
6年 松田 奈々



金沢市立兼六小学校  
5年 額谷 和花



七尾市立田鶴浜小学校  
6年 岡田 線太



能美市立辰口中央小学校  
6年 中 梨里菜

ふるさとのツバメ総調査  
「作品コンクール」(感想文の部、記録・観察作品の部)、「ツバメのお宿シール原画コンクール」について

年度	回	感想文の部				記録・観察作品の部				ツバメのお宿シール			
		応募総数	最優秀賞	優秀賞	佳作	応募総数	最優秀賞	優秀賞	佳作	応募総数	最優秀賞	優秀賞	佳作
平成17年度	34									632	1		5
平成18年度	35	280	1	1	0	16	1	2	1	208	1		2
平成19年度	36	307	1	1	2	14	1	2	1	885	1	1	5
平成20年度	37	324	1	1	3	8	1	1	1	1,121	1	1	6
平成21年度	38	541	1	2	3	8	0	0	0	1,085	1	1	5
平成22年度	39	512	0	3	2	7	0	0	2	1,215	1	1	6
平成23年度	40	438	0	1	4	18	1	1	1	1,283	1	1	6
平成24年度	41	581	1	1	4	14	1	1	0	1,445	1	1	7
平成25年度	42	569	1	2	1	12	1	2	0	1,696	1	1	7
平成26年度	43	739	1	4	5	19	1	1	1	1,583	1	1	8
平成27年度	44	451	1	2	8	19	0	2	0	1,687	1	1	10
平成28年度	45	532	1	1	3	12	0	2	1	1,615	1	1	6
延数		5,274	9	19	35	147	7	14	8	14,455	12	10	73